

目の前の患者さんを把握し、ご希望を聞く。
そうしてその患者さんに、本当に合う診療を考えます

医療法人社団 實理会
東京国際大堀病院
理事長・院長 **大堀 理**



**プライドを持って先端医療を
提供する前立腺がん手術の権威**

患者に寄り添う姿勢と膨大な手術実績を併せ持つオンリーワンのドクター

泌尿器科は患者の幅が広い。腎、尿管、尿道といった尿を排泄するための尿路システムから、精嚢、精管、前立腺といった生殖器まで、その全てで起こる疾患が泌尿器科の領域となっている。中でも血液検査のPSA値の上昇で発見されることが多い前立腺がんは、日本人男性で最も多い疾患だ。

前立腺がんについて、一般的には進行度に合わせた5つの治療方法が存在する。身体の外から前立腺に放射線を当てる外照射。ヨード125というカプセルを前立腺に注射する密封小線源療法。飲み薬や注射で男性ホルモンを抑える内分泌治療。積極的な治療は行わず、経過観察を行うPSA監視療法。それから、手術支援ロボットである「ダヴィンチ」を用いたロボット支援前立腺全摘術だ。

このロボット手術は、従来の開腹手術よりも体への負担が少ないため回復が早く、入院期間も短い。そのため手術にともなっておこる尿失禁の回復も早く性機能の温存も可能。人間の手よりも精密な動作が可能にした、安全性と確実性の高い方法である。

そのロボット手術を使った前立腺手術の権威が医療法人社団 實理会 東京国際大堀病院の理事長・院長である大堀理医師。大堀理事長が今までに行った前立腺の手術は1500件以上にのぼる。その途方もない数字を聞けば、いかに理事長がその道のスペシャリストであるかがよくわかるだろう。

思いがけない転機で医師の道へ

苦勞を乗り越え東京国際大堀病院を開院

大堀理事長の父も同じく泌尿器科の医師で、岩手医大に勤めていた。しかし、幼少の大堀理事長はサラリーマンとは違うその仕事がどういいうものか、イメージが湧かなかったのだという。



東京国際大塚病院では月曜日から金曜日まで手術を行っている

そうして父の仕事について意識をしないまま文系の大学に進学し、漫然と日々を過ごしていた。しかしある日、医療系の大学に通う高校生時代のバスケットボール部の先輩に「なぜお前は医者にならないんだ。医者は面白いぞ」と言葉をかけられた。その言葉の裏には、青春とともにコートで過ごした大塚理事長に「同じ大学でバスケットボールをしないか」と誘いかける意味もあったという。当時、目的のない大学生活の行く先に不安も覚えていた大塚理事長は先輩の言葉に頷き、猛勉強の末に医師の道を志すこととなった。

そうして進学した岩手医科大学では外科を志望、その中でも父の仕事のことも思い泌尿器科を専門分野として選択する。大学を卒業後はアメリカへ留学し、その後9年もの期間をアメリカで過ごした。

それからしばらく、日本へ戻ってからずいぶん時間が経ったころのこと。東京医科大学での診療中に、医師である患者から開業のきっかけとなる言葉をかけられた。

「もう2、3年で定年という時に、患者さんが

『定年後はどうするの?』と聞いてくれたんです。どうしようかな、と返すと『病院をやったらいいじゃない』と。それまでそういう発想はありませんでしたが、その時に開業もありかなと思うようになりました」

そうして2019年に東京国際大塚病院を開院。開院までには相当な苦労があった。既存の病院が長い時間をかけて機材を揃えていったものを、全てははじめから準備しなければならなかったといえはその苦労の一端がうかがえる。東奔西走の忙しさと苦労の末、やっと開院前の内覧会となった時には「挨拶のときに感極まって言葉が出なくなり、5分くらい何も話せなくなっていました」と大塚理事長。こうした様々な苦労を「僕の人生の中でも最も忙しい、開院までの1年間だったと思います」と、懐かしそうに振り返る。

ゼロからのスタートであったため、開院に際しては患者を集める努力が必要だったという。「努力のいかいもあって、3、4年目には患者さんが外来からあふれるくらい集まってくれました」

そして現在「4年間で前立腺のロボット手術数は全国1位。婦人科の子宮筋腫も全国3位と頑張ってきています」と飛躍を続けている。

医者としてのプライドを得たポストとの出会い

尊敬するポストからのエールは頑張るための原動力

医師キャリアの中で、9年という長い期間滞在したアメリカで大塚理事長は大きな出会いを果たしていた。

「その時のポストと9年間働いて、こういう医者になりたいなとつくづく思いました」



大堀理事長がボスと呼ぶその人物は、同じ前立腺がんの著名な専門医。世界最先端の現場でボスと仕事できたことは今、大堀理事長のプライドになっているという。

「変なプライドではなく、そういう経験をj得ているというのにレベルが低いことをやってはいけないというもの。彼の教えを守って頑張らなければいけないという気持ちがあるのです」

ボスとは現在も交友を持っている。「僕が疲れ果てていたある時に、ボスからメールが来ました。『病院で凄い数の手術をしているじゃないか』とjころで論文は作っているのか?』というものです。それを見て、これだけの数の手術をやっているのだから、研究もして論文でも貢献しなくてはjけない。その責任があるのだと思えました」

多忙の折に送られた『もつと頑張れ』とも取れるメールに、責任感とやる気が溢れた大堀理事長。ボスの存在が今、大堀理事長の医師として活動するための大きな原動力となっている。

痛みと出血が少なく社会復帰も早いロボットを駆使した前立腺がん手術

2台のロボット手術設備の完備と膨大な手術件数をこなすことで後進の育成にも注力

2000年、アメリカで前立腺がんのロボット手術がはじまったが、現在は泌尿器科がロボット手術全体の最先端を走っているという。ロボット手術のメリットについて大堀理事長は語る。

「一番は結果が良いこと。手術後の痛みが少ない、出血が少ないので輸血をする可能性がかなり低いのです。特に前立腺の場合は、ただ前立腺を取るのではなくて排尿機能や性機能も残すことができます」

開腹手術や腹腔鏡の手術でも不可能ではないが、「ロボット手術になってから更に詳細な手術ができています。お腹を開ける手術の時代では、手術後に尿がたくさん漏れるということがありました。しかし今、少なくとも当院でロボット手術を受ける方には、そのようなひどい漏れは殆どありません。だから社会復帰も早いですね」と、技術の進歩による手術の進化について述べた。

東京国際大堀病院では2019年に開院し、症例数の増加に伴い2台のロボットを導入。民間でロボットを2台導入している病院はほぼ存在しない。多くの大学病院ですら1台しか導入できないという。そんな状況の中で2台を導入した東京国際大堀病院は、いかに開院へ向けて先端医療の提供に注力していたのかをjわせる。

ロボットでの前立腺手術は、個人差があれど一人前になるまで最低でも100人の手術が必要だという。しかし、勉強熱心な研修医でもロボット手術を経験する機会が少ないのが現状だ。

その現状に大堀理事長は手を差し伸べた。他の病院から受け入れた研修医に10分や30分といった短時間から術野に触れさせ育てる、無理のない育成ができる措置を行っているのだ。これは後進の育成だけでなく、ロボット手術の普及、ひいては医療の進歩にも関わる重要な役割である。

また、東京国際大堀病院でロボット手術を得意とするのは大堀理事長だけではない。井坂副院長は2009年、婦人科の領域で国内初めてロボット支援手術を成功させた権威である。大堀理事長は「婦



ロボット手術と患者に寄り添った診療で、患者の生活と未来を救う



人科のロボット学会理事長をされている井坂先生は、ロボット手術の分野において名実ともに日本一。偉い方ですがとにかく手術が好きで、今日も若い先生に教えながらやっていました。素晴らしい先生ですね」と井坂副院長に全幅の信頼を寄せている。

ガイドラインを全てとしない患者に寄り添った診療

手術まで待たせない様々な工夫が患者から好評

「今ほどの医療分野もガイドラインを優先する時代。ガイドラインは世界中の医者が経験をもとに苦労して作った大事な基本です」

大堀理事長がアメリカで書きたいいくつかの論文も、そのガイドラインとして使用されているという。

「しかし目の前の患者さんが、ガイドラインに当てはまるかどうかでふるいにかけてしまうのは良くない風潮です。人間の身体も病気も様々、ガイドラインに合わない患者さんはたくさんいらっしゃいます。特に若い医者は『ガイドラインに沿わないからあなたの治療はできない』と除外していくような傾向がある。それは少し違うのかなと」

ガイドラインは大事なツールではあるが、全てではない。目の前の患者がその典型的な例に当てはまるかはわからない、非常に曖昧なものなのだ。大堀理事長の元へは、そうしたガイドラインに当てはまらない患者がセカンドオピニオンを求めてたくさんやってくる。

「まずは目の前の患者さんを把握すること。そして、ご希望を聞くことです。ガイドラインに添いながらも、病気を治すことと、生活の質を保つことも重要視しながら、患者さんに本当に合う

診療を考えなければいけません」

患者さんに本当に合う診療。これについてはこんなエピソードがある。以前、子宮の病を患い尿管が狭くなってしまった40代の女性が大堀理事長のもとを訪れたことがある。その女性は別の病院で、3、4カ月ごとに尿管に入れた細い管をいれかえる治療を提案されていた。もし4、5年での治癒が見込めるのならば手術よりもリスクが少ない安全な治療ではあるが、その3、4カ月ごとの管の交換は一生続くのだ。40代の女性が死ぬまでそのような生活を強いられるのは大堀理事長としてはありえないことだった。大堀理事長が提案し行った手術によって、術後その女性は普通の生活を送ることができるようになったという。

こうした患者本位の医療を展開する上で、大学病院にはできない小さな病院ならではのメリットもあるという。



手よりも繊細な動作が可能だが、確かな技術が必要な手術用のロボット

「大学病院ですと、患者さんから話を聞いた後、がんの手術でさえ、3、4カ月先ということがよくあるのです。手術が決まってからも何度も来院が必要になります」。その煩わしさ、不安は計り知れない。

「しかしうちは専門病院なので、月曜日から金曜日まで手術しており、あまりお待たせしません。手術が決定したらその後すぐ検査をし、結果を見て、手術の説明まで半日で終わる。何回も病院に来ていただくなくても手術ができるようにしています」

また診療の待ち時間軽減のため、HPから無料のネット相談も行っている。



「遠方の患者さんなどと、メールで相談などのやり取りをしています。相談内容は『他の病院で説明を聞いたがよくわからない』あるいは『説明してくれない』など。忙しい医師の気持ちはわかりませんが、なんとか上手く説明しなければならぬと思います」

ネット相談は「正直すごく大変ですが、患者さんに喜ばれています」と大堀理事長。患者の不安や負担を少しでも軽減するための工夫を行っている。

『患者さんを除外しない』『最初からNOと言わない』ことを信条とする大堀理事長のその取り組みが、患者の生活や未来を救っている。

病院のさらなる拡充 “生まれ変わり”

「ロボット手術をもっと極めたい」というあくなき向上心

現在でも様々な患者や病院から頼りにされている東京国際大堀病院だが、「さらに生まれ変わりたい」のだと大堀理事長はいう。生まれ変わりとは、現在の35床から100床に増やし、受け入れることができる患者数を増やすこと。そして、消化器外科のロボット手術をする専門医師を雇うことなどだ。

「小さな病院なので、やりたいことをするにはスペースが足りない」と自身のやりたいことを実現するため、病院拡充という目標を抱く。

また、現在でもロボット手術の第一人者であるが「かなり自信はつきましたが、やはりもっと極めたいなと思っています」と語る。終わりのないあくなき向上心をもって、大堀理事長は悩める患者の未来を想っている。

大堀 理 (おおほり・まこと)

昭和61年、岩手医科大学を卒業、北里大学病院で研修を行う。
 平成2年、米国ヒューストン市ベイラー医科大学に留学。
 平成4年、ベイラー医科大学泌尿器科講師を勤める。
 平成11年、米国メモリアルスロンケタリング癌センター 前立腺診断センター副所長
 平成19年、東京医科大学教授。平成20年、同大学前立腺センター長。
 平成26年、ロボット手術センター長に就任。
 平成31年4月、東京国際大堀病院を開院し今に至る。

所属・活動

日本泌尿器科学会。日本癌治療学会。日本癌学会。日本ロボット外科学会。
 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会。日本移植学会。日本感染症学会。
 日本化学療法学会。アメリカ小線源学会。ロボット外科学会。国際泌尿器科学会。
 アメリカ泌尿器科学会。欧州泌尿器科学会。

所在地 〒181-0013
 東京都三鷹市下連雀 4-8-40
 TEL 0422-47-1000
 FAX 0422-46-8214



アクセス JR中央本線「三鷹」駅南口出口より徒歩12分
 JR中央本線「三鷹」駅北口出口よりシャトルバス運行、「東京国際大堀病院」駅より下車徒歩5分

設立 平成31年

診療科目 泌尿器科、婦人科、内科、循環器内科、麻酔科、看護部、臨床検査科、栄養科、医療相談室

診療時間 <月～金> 9:00～12:00、13:30～16:30
 <土> 9:00～12:00 <休診日> 日・祝

サテライトクリニックの紹介 泌尿器科から慢性疾患など専門性を要する疾患に対応できる都心のサテライトクリニック

東京八重洲クリニックは泌尿器科/女性泌尿器科、ペインクリニック内科、漢方内科において専門性の高い診療を行う都心のサテライトクリニックです。

各専門分野の医師の知見をふまえた多角的かつ質の高い診療が受けられるということが最大のメリットです。

当クリニックは東京駅から徒歩4分の立地にありますので、近隣の患者さまはもちろんのこと他府県の方々にもお気軽に診療を受けていただくことが可能です。

また、中央区医師会の連携医療施設との連携を緊密にして地域医療の向上を図るとともに、最先端技術のロボット手術において日本トップクラスである「東京国際大堀病院」での泌尿器科手術を円滑にご案内することができます。

東京八重洲クリニック URL <https://tokyo-yaesu-cl.jp/>

<https://ohori-hosp.jp/>